

家畜排せつ物の利用の促進を図るための意見交換会

第4回 これまでの意見交換会における議論について

令和7年2月4日
農林水産省

■第1回：環境規制への対応（悪臭・排水等）

生産面の 取組



- 苦情を未然に防ぐため、日頃から地域住民とのコミュニケーションが重要。
- 悪臭対策については、畜舎、堆肥舎、保管施設など臭気発生源が複数あることから、まずは発生要因の洗い出しが重要。混住化が進んでいる地域においては、堆肥やスラリーを散布する時間帯や風向きを意識するとよい。
- 管理の適正化および労力の確保の観点から、排水対策については、BODバイオセンサーなどのIoT技術の導入や浄化処理施設のメーカーによる定期的なメンテナンスも検討。

行政の 連携



- 悪臭の苦情のうち約8割で行政指導が実施されていない理由として、環境部局から畜産部局に引き継いで終わりとなっている可能性がある。そのため、両部局での同行や現況や指導内容を共有する等の体制整備が重要。
- 畜産部局と環境部局の連携の成功事例として、人口減少によって下水道のキャパシティに余裕がある地域において、処理費用を養豚農家から徴収して下水道に流すことによって臭気対策となった事例がある。

■第2回：国内肥料資源としての有効活用について①

堆肥の利用について

堆肥の 効果



- 化学肥料を使い続けると、土が弱ってきてしまうため、堆肥による土づくりは非常に重要。
- 牛ふん堆肥は窒素の肥効率が低いデメリットもあるが、土壌改良効果や、他畜種との混合による成分補填、バイオ炭の混合による土壌への炭素貯留効果でのクレジット生成など高付加価値化要素もある。
- 家畜排せつ物の約6割が牛由来であり、未利用資源の活用の観点から粒状化に取り組んでいる。粒状堆肥は化学肥料との混合も容易であり、不足する肥料成分は補うことができる。

利用者の ニーズ



- 耕種農家では、安定的な品質や供給体制が整った安価な堆肥を求めている。
- 堆肥の利用拡大のためには、耕種農家側の粗利の増加、堆肥散布の作業の効率化、使用時期の分散により輸送やストック場所の問題を最小限にすること等が求められる。
- 堆肥のマッチングリスト上で、堆肥価格が要相談となっている場合が多く、より検討しやすくするためにも、堆肥の品代と運賃の標準的な価格や品質について明示してほしい。

■第2回：国内肥料資源としての有効活用について②

ペレット化や流通について

ペレット の課題



- ペレット化について、年々電気代が高騰しており、消耗品費用と合わせるとランニングコストとして3,500～5,000円／t程度となり、ペレット製造コストを抑えるのが難しいのが現状。
- 試しに少量使用する場合にペレットは適しているが、多量に散布する場合には、ペレットは高価格である分使用しづらい。ペレット化を進めるより、バラ堆肥が散布できる体制を整備していく方が良いのではないかと

堆肥の 流通



- 広域流通する場合には、バラ堆肥は適さないため、ペレット化により崩れを防止しつつ品質を確保している。輸送距離に応じた使い分けが重要。
- 堆肥を不足している地域に移送するには、輸送費が課題となっている。畜産農家と耕種農家の両者にとって負担することが難しい輸送費について、国の支援策なしに課題解決は難しいのではないかと。
- 堆肥の流通に難航している場合は、堆肥供給者と需要者の中間である流通業者への支援を行い、利益が生じる市場形成ができれば、流通面の課題解決に繋がるのではないかと。

堆肥センター の活用

- 全国400カ所以上もある堆肥センターが赤字や施設老朽化などを理由にフル活用できないのは非常にもったいないので、堆肥センターの更なる有効活用を検討すべき。

■第3回：環境負荷低減（GHG対策、エネルギー利用）

GHG 対策



■生産者の立場からは、生産性や収益性を優先せざるを得ない。GHG対策に取り組むことで生産コストの低減ができ、Jクレジット販売益も得られるような仕組みづくりが必要。

■大豆粕等の価格や飼料形状にもよるが、アミノ酸バランス改善飼料の利用により、飼料コストの削減が期待できる。

■GHG排出量の少ない牛肉を生産したが、価格転嫁の難しさを実感。消費者への理解醸成や卸売業者における優位性確保が重要。

エネルギー 利用



■メタン発酵施設整備により、収益の向上以外にも、堆肥化施設などでふん尿が付着した機械などを直接触れることがなくなり、精神的にもメリットがある。

■売電価格が下がったことや施設整備・維持のコストが高くなっているため、自力で整備して黒字にするのは難しい場合が多いのではないかと。

■消化液は窒素と有機物の比率がアンバランスな状態であり、浄化処理は困難。ほ場に還元できない場合には、メタン発酵は難しいのではないかと。